

令和4年度 米子市福市考古資料館事業報告書

1 管理業務の実施状況

1 原始・古代の歴史を学ぶ機会の提供

- (1) 米子市などの考古資料や解説パネルを展示する常設展・企画展を開催し、原始・古代を中心とする郷土の歴史への関心を高めた。
- (2) 見て・触れて・作る体験教室、出前講座などを通して、古代への興味・関心を深めた。

2 施設の良い管理

- (1) 日々の施設設備の点検と清掃を行い、良好な施設環境の維持管理に努めた。
- (2) 来館者へ石包丁づくり、勾玉作り、火起こし、弓矢体験を提供した。
- (3) 来館者へ考古資料の拓本体験の提供を図った。
- (4) 考古学関係図書を配架し、学習利用に提供した。

3 情報の発信

- (1) 事業のチラシを配布して広報に努めた。
- (2) 施設のホームページで施設や行事の情報、遺跡紹介を行った。
- (3) 「米子市福市考古資料館通信」を年4回発行し情報提供に努めた。
- (4) 随所に解説チラシを展示室に配置し、展示解説に努めた。

4 連携事業の促進

- (1) 鳥取県ミュージアムネットワークに加盟し、他館との連携を図った。
- (2) なかよし学級、学童保育等との連携を図った。
- (3) 山陰歴史館、上淀白鳳の丘展示館、米子市との連携を図った。

5 施設管理の充実

- (1) 前庭の植木や危険木の剪定、伐採等の整備を行い、環境美化を図った。
- (2) 展示室の床のワックス塗装を行い、施設の環境維持を図った。

2 事業の実施状況

事業名	開催・実施期間	参加者数 (人)	内 容
鑑賞事業			
常設展 「米子の原始・古代」	通年	3,283	米子の遺跡から出土した考古資料を展示し、米子の原始・古代の歴史の理解を深める展示を行った。
企画展1 「土器の文様」－縄文～弥生土器－	6/1(水) ～ 6/27(月)	181	縄文土器の様々な文様を解説し、その変遷と意味を紹介する展示を行った。
企画展2 「発掘された土の城」 －西伯耆の中世城館跡－	9/7(水) ～ 11/28(月)	838	発掘調査が行われて解ってきた戦国時代の城の姿を解説し、検出した遺構の写真パネルや出土遺物を展示した。
企画展3 「発掘された陶磁器」 －時代と種類－	2/1(水) ～ 3/6(月)	171	発掘調査で出土した古代から近代の陶磁器を展示し、その変遷と意味を紹介した。
教育普及事業			
考古学教室 「和鏡の拓本」を採ろう	8/6(土)		※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
考古学教室 「古銭の拓本」を採ろう	8/7(日)		※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
出前講座 「なかよし学級古代体験」	—		※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
出前講座 「勾玉づくり」	6/4(土)	9	児童発達支援事業所に出向き、勾玉づくりの出前講座を実施
「古代体験」 石包丁づくり、勾玉づくり、 火起こし、弓矢体験	通年		石包丁づくり、勾玉づくり、火起こし、弓矢の古代体験を希望した来館者等へ提供した。
情報提供事業			
米子市福市考古資料館通信の発行	年4回		福市考古資料館や史跡福市遺跡のイベント情報の提供や展示品の紹介等を行った。
福市考古資料館発刊物	3/31(金)		埋蔵文化財センター・福市考古資料館の年報を発刊した。
ホームページ	通年		ホームページを更新し、施設イベント情報や資料館通信を提供した。
鳥取県ミュージアムネットワーク	通年		県内博物館のネットワークへ参加し、情報の交換を行った。
図書等販売	通年		勾玉の材料や、「よなごの大昔」、「米子城ペーパークラフト」等の図書販売を行い、収入の一助とした。
合 計		4,482	

3 施設の利用状況

(1) 利用者へのサービスの向上

- ・常設展示の入れ替えを随時行い、展示の充実を図った。
- ・福市遺跡や埋蔵文化財センターへの案内等、利用者の利便を図った。
- ・アンケート箱を設置し利用者要望の把握に努めた。

(2) 施設の開館状況

開館日数 295日

入館者数 4,473人（企画展を含む）

4 収入実績

項目	収入額(円)	摘要
事業収入	2,700	自主事業資料・材料代
雑収入	54,748	冊子売捌、自販機電気代等
合計	57,448	